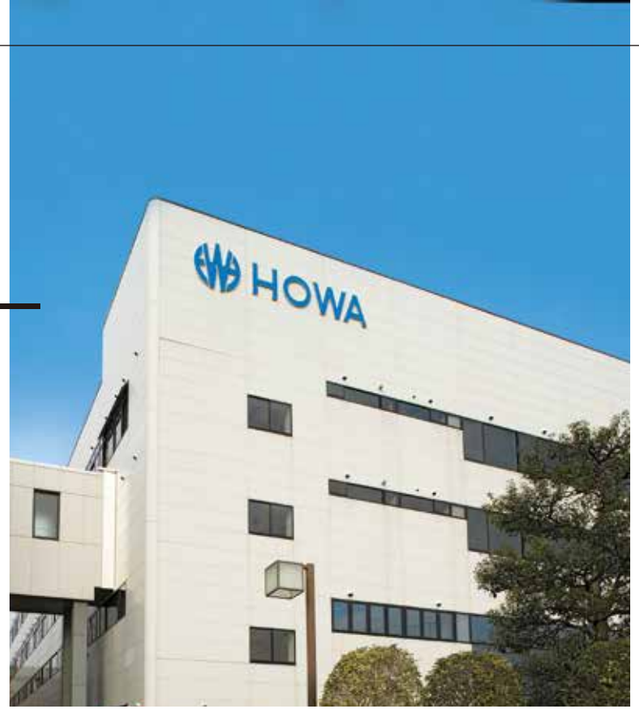
# 株式会社HOWA CSRレポート2021

# 会社概要




- 会　社　名　株式会社HOWA（Howa Co.,Ltd.）
- 代表取締役社長　髙田　智行
- 本社所在地　愛知県春日井市味美白山町2丁目10番地の4
- 設　　立　1955年（昭和30年）3月7日
- 事業内容　自動車用内装部品の企画・開発・製造・販売
- 資　本　金　3億240万円
- 売　上　高　623億円（2020年度 グループ全体）
- 従業員数　3,420名（2021年3月末　グループ全体）
- 主要製品　ヘッドライナー、ダッシュインシュレーター、サンシェードトリム、ドアトリム、ラッゲージトリム、NV製品　等

# 国内外ネットワーク

## 国内拠点・工場

本社/愛知県春日井市
厚木システム開発センター/神奈川県厚木市
東京支社/神奈川県厚木市
大阪営業所/大阪府池田市
栃木営業所/栃木県宇都宮市
磐田工場/静岡県磐田市
岡崎工場/愛知県岡崎市

## 国内関連会社

株式会社HOWA九州/福岡県嘉麻市
株式会社HOWA岩手/岩手県胆沢郡金ケ崎町
株式会社HOWA栃木/栃木県那須塩原市
株式会社HOWA岐阜/岐阜県不破郡垂井町

## 海外関連会社

【アメリカ】
American Howa Kentucky, Inc. Kentucky工場
American Howa Kentucky, Inc. Ohio工場
American Howa Kentucky, Inc. Mississippi工場
American Howa Kentucky, Inc. Georgetown工場
Howa USA Holdings, Inc.
【メキシコ】
Howa Mexico, S.A. DE C.V.
【カナダ】
Howa Canada Manufacturing, Inc.
【フランス】
Howa Tramico SAS Brionne工場
Howa Tramico SAS Coulomb工場
Howa Tramico SAS Pullflex SAS
【スペイン】
Howa Tramico SAS s.o. Isofel
【スロバキア】
Howa Tramico Slovakia s.r.o.
【ロシア】
LLC Howa Tramico
【ポルトガル】
Howa Tramico Automotive Unipessoal Lda
【中　　国】
天津新明繊維樹脂製品有限公司
佛山新明繊維樹脂製品有限公司
武漢新明繊維樹脂製品有限公司
襄陽新明繊維樹脂製品有限公司
広東豊明商貿有限公司
豊和繊維研発（佛山）有限公司
【韓　　国】
Howa Korea, Ltd.
【タ　　イ】
Howa Thailand Co., Ltd.
【インドネシア】
PT. Howa Indonesia



# SDGsへの貢献

「持続可能な開発目標（SDGs）」は、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。
17のゴール・169のターゲットから構成され、「地球上の誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。当社においても、事業活動やCSR推進を通じ、目標に向かって積極的に貢献していきます。

# 目　次


| | |
|---|---|
| ・会社紹介 | 01 |
| ・会社紹介/目次 | 02 |
| ・事業内容（製品紹介） | 03 |
| ・数字で見るHOWA | 05 |
| ・経営理念・CSR方針 | 07 |
| ・トップメッセージ | 08 |
| ・ＥＳＧとHOWAの取り組み | 09 |
| ・環境 | 11 |
| ・社会 | 13 |
| ・ガバナンス | 19 |




# 沿　革

1955年 ・会社設立（愛知県名古屋市中区御幸本町）
　　黒川工場（名古屋市）にて自動車用
　　コットンマット（クッション材）生産開始
1960年 ・春日井工場新設（愛知県春日井市）
1961年 ・本社移転（愛知県春日井市）
1965年 ・磐田工場新設（静岡県磐田市）
　　・フロア用パット材（フェルトップ）生産開始
1967年 ・ダッシュインシュレーター生産開始
1970年 ・厚木工場新設（神奈川県厚木市）
　　・成形天井生産開始
1978年 ・岡崎工場新設（愛知県岡崎市）
　　・シート用RCMマット生産開始
1987年 ・東豊産業（韓国）設立
1991年 ・本社「技術本館」竣工　半無音響室設置
1992年 ・（株）豊和繊維九州製作所設立（福岡県嘉麻市）
　　・ウレタンダッシュインシュレーター生産開始
1995年 ・本社「技術センター」竣工
1996年 ・ウレタン成形天井生産開始
　　・天然繊維成形天井生産開始
1998年 ・岡崎工場にオレフィンシートライン設置
1999年 ・モジュール成形天井生産開始
2000年 ・日豊化成（株）岐阜工場竣工
　　・高圧・低圧インジェクション成形トリムの生産開始
2002年 ・本社「システム開発センター」竣工
2003年 ・（株）豊和繊維岩手製作所設立（岩手県胆沢郡）
2004年 ・Howa USA, Inc設立（米国インディアナ州）
　　・厚木システム開発センター新設（神奈川県厚木市）
2005年 ・天津新明繊維樹脂製品有限公司設立（中国）
2006年 ・佛山新明繊維樹脂製品有限公司設立（中国）
　　・本社「実験棟」竣工
2007年 ・American Howa Kentucky, Inc（AHK）設立
　　（米国ケンタッキー州）
2008年 ・（株）豊和繊維栃木製作所設立（栃木県那須塩原市）
　　・Howa USA Holdings, Inc設立（米国ミシガン州）
　　・広東豊明商貿有限公司設立（中国）
2009年 ・武漢新明繊維樹脂製品有限公司設立（中国）
2010年 ・Howa Thailand Co., Ltd. 設立（タイ）
　　・Howa USA, IncをAHKに統合
2011年 ・豊和繊維研発（佛山）有限公司設立（中国）
2012年 ・PT. Howa Indonesia 設立（インドネシア）
　　・フォルシア豊和インテリア設立（神奈川県厚木市）
　　・Howa Tramico SAS 設立（フランス パリ）
2013年 ・本社「コミュニケーションセンター」竣工
　　・Howa Mexico, S.A. DE C.V. 設立（メキシコ）
　　・Howa Canada Manufacturing, Inc. 設立（カナダ）
2014年 ・襄陽新明繊維樹脂製品有限公司設立（中国）
2019年 ・商号変更（当社および国内関連会社）

| 旧社名 | 新社名 |
|---|---|
| 豊和繊維工業株式会社 | 株式会社HOWA |
| 株式会社豊和岩手製作所 | 株式会社HOWA岩手 |
| 株式会社豊和栃木製作所 | 株式会社HOWA栃木 |
| 株式会社豊和九州製作所 | 株式会社HOWA九州 |
| 日豊化成株式会社 | 株式会社HOWA岐阜 |

# 事業内容(製品紹介)

当社は、快適な車内空間を創造し、あらゆる自動車メーカーのニーズに応え、オンリーワン製品を提供し続けています。トップクラスのシェアを誇るサンシェードトリム（トリム:内張り）を筆頭に、数々のオンリーワン製品を携え、現在では内装全体を総合的にプロデュースする「システムサプライヤー」としてメーカーのニーズに対応しています。

## ヘッドライニング

車内の天井部分のトリム（内張り）です。心地よい見た目や触感に加え、音や熱の侵入を抑える製品です。

ヘッドライニング

ヘッドライニング（サンルーフ）

成形天井は、1970年、国内で初めて当社が開発しました。自社生産されたウレタンを使用しています。連続気泡のウレタンフォームの両面を、ガラス繊維で強化したウレタン天井は、軽量で、吸音性、耐熱性、耐湿性に優れ、寸法安定性も高く、特に大型の成形天井に適しています。

サンバイザー

普段はフロントウインドシールドの上に保持され、
運転時の日差しを遮ります。

サンシェード

ガラスサンルーフからの太陽熱や紫外線、
車外騒音を遮断し、快適な室内空間を実現します。

## ドアトリム

ドアの内張りパネルで、自動車のインテリア空間を構成する製品です。

ドアトリム

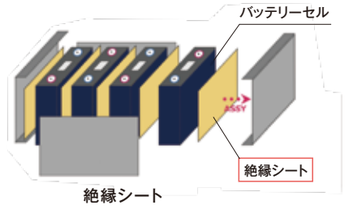
各ドアの室内側にセットされるトリムです。
制振材として外部からの侵入音や振動を抑えます。

ボデーサイドトリム

ドア開口廻りの見栄え向上と衝突の衝撃を和らげます。

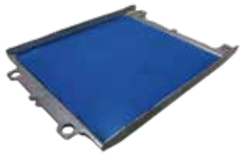
## バッテリー部品

EV車のバッテリーの絶縁、保護に使われる製品です。




絶縁シート

絶縁シートは、EV 車バッテリーの中で小型のバッテリー（バッテリーセル）間のショートを防ぐ機能を持ったシートです。



バッテリーカバー

バッテリーカバーはバッテリーセルの集合体をまとめてカバーして、一つのバッテリーユニットを構成するものです。
バッテリーユニットの保護、延焼防止の機能を担っています。







## トランク・ラゲッジトリム

衝撃や振動を緩衝する制振機能と外部からの侵入音を抑える吸・遮音機能をあわせ持つ製品です。

バックドアトリム

バックドアにセットされるトリムです。外部からの侵入音を
低減します。荷物への衝撃を緩和します。

パッケージトレイ

リアシートとリアウインドウ間に装着される製品です。
トランクルームからの騒音の侵入やボディの振動を
抑えます。

ラゲッジサイドトリム

ラゲッジ側面にセットされるトリムです。心地よい見た目と
触感を提供します。外部からの侵入音を低減し、
荷物への衝撃を緩和します。

ラゲッジフロアボード

荷室内のフロア面にセットされるトリムです。
見栄えの向上と荷室に入れる重量物を支え、
排気音など外部からの侵入音を低減します。

トノカバー

乗用車やトラックなどの荷室を覆うカバーです。

ラゲッジボックス

ラゲッジフロアボードの下の空間を物入れとして提供し
ます。排気音など外部からの侵入音を低減します。

## NV Product

騒音や振動を軽減し、 車内空間を快適に保つ機能製品です。

ダッシュサイレンサー

ダッシュパネルの車室内側に装着される防音材です。
エンジンノイズ、ロードノイズを低減します。

エンジンアンダーカバー

エンジンルームの下部に装着される防音材です。
車外騒音を低減し、空力性能を向上させることで
燃費向上に貢献します。

フェンダーライナー

ホイールハウスに装着される防音材です。走行時のタイヤ
騒音を低減し、泥や石跳ねからボディーを保護します。

フードインシュレーター

ボンネットのエンジンルーム側に装着される防音材です。
車外騒音を低減します。

# 数字で見る HOWA

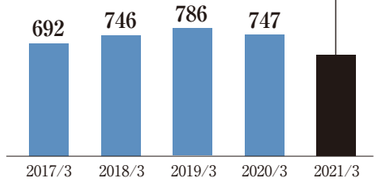
## 会社創立

**66周年**
（2021年3月）

**創立日1955年3月7日**

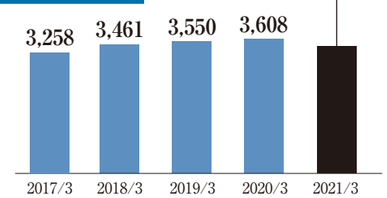
## 売上高（連結）

**623億円**



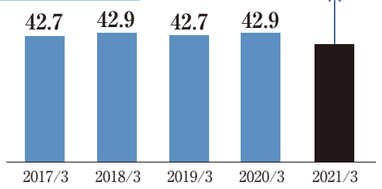

## 社員数（グループ全体）

**3,420人**



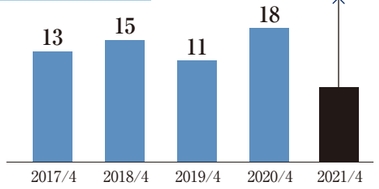

## 平均年齢（単体）

**41.8歳**



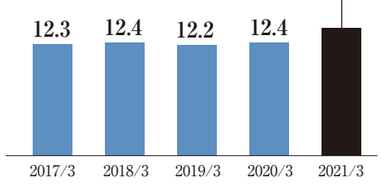

## 新卒採用者数（単体）

**6人**



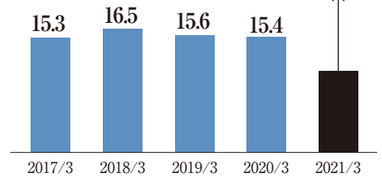

## 平均勤続年数（単体）

**13.6年**




## 平均残業時間（単体）

**10.9h/月**

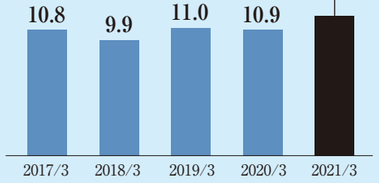






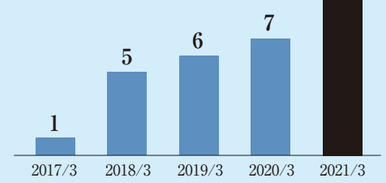

## 有給休暇取得日数（単体）

**12.0日**



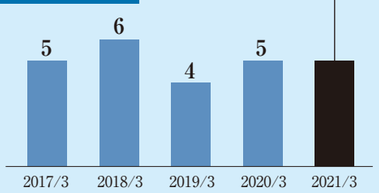

## 育児短時間勤務者数（単体）

**11人**



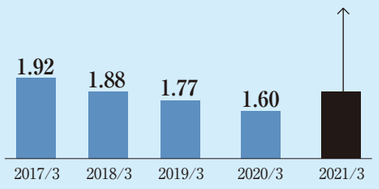

## 育児休業取得者数（単体）

**5人**



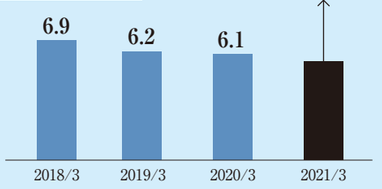

## 障害者雇用率（単体）

**1.88%**



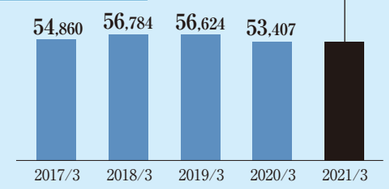

## 60歳以上従業員在籍率（単体）

**5.7%**



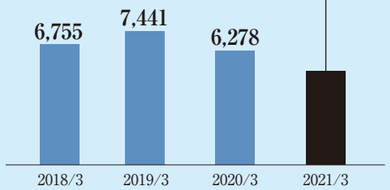

## 太陽光発電量（単体）

**53,350Khw**



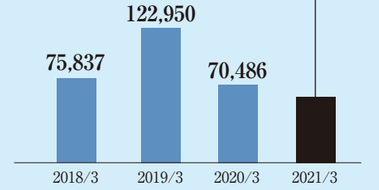

## 産業廃棄物排出量（国内グループ全体）

**5,041t**




## 水使用量（国内グループ全体）

**59,957KL**



# 経営理念

1. 豊かな人間性と協調の精神によって会社を運営する。
2. あらゆる環境の中でも存続・発展しうる強固な企業基盤を確立する。
3. 常に業界のトップレベルとしての評価と信頼される製品づくりに総力を挙げる。
4. 従業員の福祉の向上と社会の発展に貢献する。

# CSR方針

## ～ 信頼される企業とは ～

当社は経営理念を具現化した5つのCSR方針（企業の社会的責任への取組み方針）を定めています。このCSR方針に基づき企業活動を展開し、社会の持続可能な発展に貢献することは企業の社会的責任であるとともに、当社の発展にも繋がるものと考えています。

## 1. お客様

安全かつ高い品質の製品を安定して供給することによりお客様の期待に応え、ニーズを先取りした製品を開発することにより業界の発展に貢献します。

## 2. お取引先

お取引先を尊重し、公正、透明で誠実な取引を維持し、相互信頼に基づく共存共栄の実現に努めます。

## 3. 従業員

安全かつ健康的な労働環境の提供に努め、人権や多様性を尊重し、従業員個々の能力開発を支援することを通して、従業員と会社がともに成長できるよう努めます。

## 4. 環境

$CO_2$排出量の削減や、水資源保全および資源の再利用推進を通して環境負荷低減に努め、持続可能な地球環境の実現に貢献します。

## 5. 社会

拠点を置く国や地域の文化や慣習を尊重し、社会と調和のとれた発展に努め、法令順守のみならず企業倫理の徹底を図り、社会の信頼に応える経営に努めます。



# Top Message

## トップメッセージ

2020年度は、新型コロナウィルス感染拡大により主要取引先である完成車メーカー各社の生産計画が大きく変更され、世界の自動車販売台数は年度後半には増産に転じたものの、前年比大幅に減少しました。このため弊社の業績も大きく影響を受け大幅な減収になりました。

こうした中、自動車業界では、CASE、MaaS対応に代表されるような大変革期の取組みに加え、SDGsやカーボンニュートラルという持続可能な社会の実現に対する取組みも重要な課題となりました。高い政府目標を達成するためには、自動車業界だけでなく全産業が国の指針に向け全力で取組む必要が出てきました。外部環境は、まさに激動の時代を迎えています。

このような環境下でも持続的に成長していくためには、まず、環境変化に対応できる体制を作り技術開発、商品開発等において競合他社を圧倒する競争力をもつことと、同時にSDGsやカーボンニュートラルへの取組みを推進することで、お取引先から選ばれるサプライヤーになることが極めて重要であると考えています。

弊社は、徹底したスリム化を図るとともに、自らの強みを活かしたビジネスモデルを地域ごとに再構築し、競争力あるサプライヤーになれるよう、日々取り組んでいますが、これと同時に、コンプライアンスや法令の順守は無論の事、環境、社会の課題解決にも、企業の社会的責任として、積極的に取り組んでいます。

とくに環境にやさしい素材開発や製造技術開発の源には、環境保全に根差したものであることという、創業時からのHOWA製品のアイデンティティがあります。

その歴史と実績を踏まえながら、地球環境時代に呼応する次世代の自動車内装の快適性を永続的に追求しています。

こうした製品づくりを通じた強固な経営基盤の確立と社会的諸課題への継続的取組みは、企業の存続、発展にとって欠くことのできない重要課題であり、まさに車の両輪として、どちらにも重点を置いて取り組んでいます。

この弊社の取組みをご説明し、皆様にすこしでもご理解を深めていただけますよう、本年も「CSRレポート2021」を作成致しました。ぜひご一読いただきますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

高田 智行

## ESGとHOWAの取組み

「ESG」とは、環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったものです。
企業の安定的かつ長期的な成長には、環境や社会問題への取組み、ガバナンスのあり様が影響しており、
ESGが示す3つの観点が企業経営にも重要だという考え方が世界的に広がっています。

当社のCSR方針と関連する主な取組み項目をESGの観点であえて分類し、SDGsの目標と関連付けるとおおよそ以下の表のようになります。

HOWA CSRレポート2021

## ESGとHOWAの取り組み

当社はSDGs達成に貢献する取組みを続けることで志の高い基盤をつくることを経営方針に掲げ、
事業活動やCSR推進を通じ努力を続けています。
個々の取組みがSDGsの各目標達成に貢献している事を認識できれば、取組みをより強固にする
道しるべになる他、こうした視点を持つ事で貢献できる新たな課題発見にも繋がっています。

| CSR方針 | HOWA取組み項目 | | ESG分類 | 関連するSDGs |
|---|---|---|---|---|
| **お 客 様**<br>安全かつ高い品質の製品を安定して供給することにより お客様の期待に応え、ニーズを先取りした製品を開発する ことにより業界の発展に貢献します。 | ●防災備蓄品の管理<br>●新型コロナウィルスへの対策<br>●安定供給への取組み(BCP)～安否確認システムの導入～ | ●防災訓練の実施<br>●品質の追求<br>●個人情報保護 | G | |
| **お取引先**<br>お取引先を尊重し、公正、透明で誠実な取引を維持し、 相互信頼に基づく共存共栄の実現に努めます。 | ●お取引先への取組み | | S | |
| **従 業 員**<br>安全かつ健康的な労働環境の提供に努め、 人権や多様性を尊重し、従業員個々の能力開発を 支援することを通して、従業員と会社がともに成長 できるよう努めます。 | ●ワークライフバランス　社内制度<br>●有給休暇の取得促進と残業時間の削減に向けて<br>●育児休業と介護休業<br>●定期健康診断<br>●ストレスチェックの実施<br>●社員の健康増進　産業医の活用<br>●安全衛生<br>●工場での安全衛生の取組み<br>●取締役の安全健康決意表明 | ●研修について<br>●QC活動<br>●シニア層の活躍<br>●障がい者の活躍<br>●グローバル人材<br>●人事評価制度<br>●労使関係<br>●脱ハラスメント宣言 | S | |
| **環　境**<br>$CO_2$排出量の削減や、水資源保全および資源の 再利用推進を通して環境負荷低減に努め、 持続可能な地球環境の実現に貢献します。 | ●工場の$CO_2$排出量削減<br>●物流の$CO_2$排出量削減<br>●社有車に電気自動車を導入<br>●新製品の開発<br>●環境マネジメントシステムISO14001<br>●照明のLED化<br>●再生利用可能エネルギーの利用促進 | ●化学物質の管理<br>●水質汚染低減<br>●5Rsの取組み<br>●廃棄物の削減<br>●環境情報等の積極的な開示 | E | |
| **社　会**<br>拠点を置く国や地域の文化や慣習を尊重し、 社会と調和のとれた発展に努め、 法令順守のみならず企業倫理の徹底を図り、 社会の信頼に応える経営に努めます。 | ●紛争鉱物<br>●特許<br>●交通安全活動(立哨活動)<br>●献血<br>●地域との交流<br>●寄付 | ●情報セキュリティ<br>●コンプライアンス<br>●コンプライアンス研修<br>●内部通報制度<br>●汚職・贈収賄防止 | S<br>G | |

# E 環境

# ENVIRONMENT

## 工場のCO₂排出量削減

当社は生産活動でのCO₂排出量削減に向けさまざまな取組みを行っています。工場の屋根の塗装に耐熱塗装を施したり、フェルト設備のモーターの小型化や、事務所エアコンの省エネタイプへの変更、照明の間引き点灯、外灯の点灯時間調整など細かな取組みを続けています。
また、成形時間短縮、スライス工数改善による時間短縮、集約生産による予熱時間削減、不良率低減、作業工数削減、生産方法変更等による効率化、暖気運転時間短縮、ガラス塗布、発泡工数や生産工程の効率化、予熱時間の管理などをきめ細かく行い、電力の消費低減によるCO₂排出量削減にも取り組んでいます。

**HOWA九州は、**

AGV（電気・バッテリー式）による自動運搬と、カラクリシューターを用いた空パレットの入替え作業およびウォーキー（バッテリー式リフト）による運搬、荷役作業を行い、ガソリン式対比でCO₂排出量を減らす取組みを実施しています。



AGV:電気・バッテリー

ウォーキー（バッテリー式リフト）

CO₂排出量（Scope1+Scope2）

**15686.05t**

（2020年度・国内グループ全体）

## 物流のCO₂排出量削減

当社は物流活動でのCO₂排出量を削減するために部品などの輸送効率改善に取り組んでいます。
物流改善委員会を中心に、トラック積載効率向上（各路線の統合、共同輸送、収容効率向上など）、物流距離の短縮化（納入先の近隣地生産など）に取り組んでいます。今後もさらなる輸送効率改善を図り、CO₂排出量削減に取り組んでいきます。

## 社有車に電気自動車を導入

当社は社有車に電気自動車やハイブリッドカー、水素自動車を導入しています。ガソリン使用によって発生するCO₂排出量の削減、排気ガスの抑制に努めています。

## 新製品の開発



燃費向上に欠かせない軽量化に向け、フィルムを使用したユニークな防音材を開発し、車両としてのCO₂排出量削減に貢献しています。
また、車両の防音性能を落とさない最適防音材提案を行う車両音響解析ソフトウェアを開発し、理想的な軽量防音材提案を行っています。防音材の材料は衣料端材をリサイクルしたフェルトを主に構成しており、構成材料を含め工程内リサイクルにも取り組んでいます。

## 環境マネジメントシステム ISO14001

当社は工場単位で環境方針を定め、環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を認証取得しています。
2020年2月HOWA栃木が新たに認証取得し、取得工場は合計5工場になりました。

**ISO14001 認証取得状況**

| 対象拠点 | 認証取得 |
|---|---|
| 磐田工場 | 2000年11月15日 |
| 岡崎工場 | 2001年11月18日（登録移転2018年8月） |
| HOWA九州 | 2003年12月19日 |
| HOWA岐阜 | 2005年10月 7日 |
| HOWA栃木 | 2020年 2月28日 |

## 照明のLED化

環境負荷低減に向けた取組みの一つとして、照明のLED化によるCO₂排出量削減を進めています。本社では照明全体の70%、岡崎工場では同81%、磐田工場では同61%、グループ会社のHOWA九州では同66%、HOWA岐阜では同82%、HOWA栃木では同50%のLED化を終えており、引き続き、100%LED化を進めています。

## 化学物質の管理

当社はお客様のニーズに適した安全かつ高い品質の製品を安定して供給するため、関連法規情報を収集し、製品の企画段階から原材料に含まれる環境負荷物質を把握する管理強化活動に取り組んでいます。また、お取引先の環境負荷物質管理体制に関する点検を通じて、お取引先の管理体制向上支援や理解普及活動を行っています。

## 再生利用可能エネルギーの利用

CO₂排出量削減活動の一環として、本社では社屋の屋上と壁面に太陽光発電システムを導入し、全量を本社で消費しています。この発電状況は、モニターで来訪されたお客様にも確認していただけるようになっています。

## 水質汚染低減

当社工場では油水分離槽を通してサイト外へ排水するとともに、工場排水の水質測定を定期実施しています。
ISO14001環境マネジメントシステムに基づいた設備の日常チェック、定期的な事故を想定した訓練により水質汚染の防止に努めています。

## 5Rs の取組み

「人と環境にやさしい」、「環境保全」に根ざしたものは、創業以来当社の製品づくりのアイデンティティとなっています。環境保全や資源の有効活用をテーマに、創業以来数々の技術革新を行ってきましたが、地球資源の有限性を認識し、環境に配慮した資源の有効活用をテーマに、全社を挙げて「5Rs」に取り組んでいます。

| | |
|---|---|
| Refine | 材料・設計の変更による Reduce、Reuse、Recycle の拡大。 |
| Reduce | 廃棄物を発生させない設計・生産技術の展開。 |
| Reuse | 廃棄物の同一工程内再使用。 |
| Recycle | 別用途での廃棄物有効利用。 |
| Recovery | エネルギー資源としての活用。 |

当社工場では、ダッシュサイレンサーなどの外周屑リサイクルやエンジンアンダーカバーの端材を粉砕した再利用、ダッシュサイレンサー孔屑、天井端材を産廃業者でRPF（廃プラスチック固形燃料）化し再利用しています。また、VAや不良低減といったReduceの活動も実施しています。

## 廃棄物の削減

金属、作動油、紙類をリサイクルし、廃棄物の低減に努めている他、廃棄物の適正処理が出来ていることの確認のため、産業廃棄物処理現場の確認も年1回行っています。

## 環境情報等の積極的な開示

当社は、環境情報の積極的な開示を通して、各ステークホルダーとの環境コミュニケーションを推進しています。CDP気候変動プログラムおよびウォーターセキュリティプログラムには2014年より回答を開示しており、EcoVadis社（本社フランス）のサステナビリティ（持続可能性）調査には2016年より回答を行っています。その他、各省庁や日本自動車部品工業会等からの調査へも積極的に回答を行っています。

HOWA CSRレポート2021

# S 社会

# SOCIETY

## ワークライフバランス 社内制度

「企業は人なり」の精神に立って会社を発展させ、社員と家族の幸福を実現することを経営基本方針に掲げ、その実現に向けた取組みを展開しています。
具体的には、フレックスタイム制度や、法律で定める基準を上回る年次有給休暇制度や育児関連諸制度、有給の介護休暇など介護関連諸制度を取り入れています。今後も多様なライフスタイルを尊重し、全社員が職場とプライベート両面で充実感を得られるような環境整備を推進していきます。

## 定期健康診断

人生100年時代、長く働き続けるためにも健康の維持はとても重要なものです。当社ではグループ企業も含め全従業員が年1回健康診断を受診して自らの健康を管理できるよう助力しています。また、特定の年齢層を対象にがん検診をオプションで付加しています。人間ドック受診希望者で特定の年齢層にあたる人には会社から費用補助を行っています。

## 有給休暇の取得促進と 残業時間の削減に向けて

年次有給休暇の取得促進に向けて、毎月取得状況をチェックし部門長にレポートしているほか、定期的に全社の取得状況を社内に公表しています。労使を交えた取得促進についての話合いの場も設定しています。
また、従業員が健康でいきいきと働ける職場を目指して、長時間労働の防止にも取組んでいます。
月間の残業時間をレポートするとともに、労使を交えた残業時間削減についての話合いの場も設定しています。

## ストレスチェックの実施

セルフケア（一人ひとりが行う自身の健康管理）のさらなる充実および働きやすい職場環境の形成を目的に、労働安全衛生法に基づき、ストレスチェックを毎年1回行っています。Webによる受検後、ストレス状況が表示され、各人別のアドバイスなどがWebサイトで確認できます。

ストレスチェック実施率
**91%**
（2020年度・国内グループ全体）

## 育児休業と介護休業

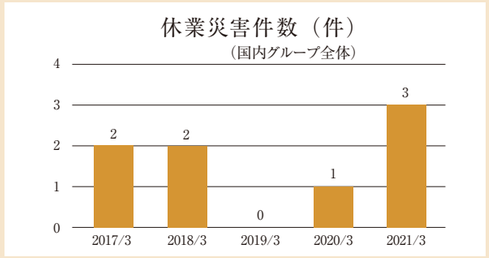
育児休業制度および介護休業制度を導入しています。育児休業は1歳6カ月に満たない子と同居し、養育する人が取得できる制度で、男性も取得可能です。
また、小学校を卒業するまでの子を養育する従業員が当該子を養育するために申出した場合に育児短時間勤務も可能です。
介護休業は要介護状態にある家族を介護する従業員が介護を目的に取得できる制度です。
また、介護短時間勤務も可能となっています。

## 社員の健康増進 産業医の活用

健康保険組合が毎年9月から11月の3ヶ月間に開催する健康づくりキャンペーンに積極的参加し、従業員に運動・食事・歯のケアについて各自目標を立ててもらい、3ヶ月間健康づくり活動を行っています。
また、同期間、禁煙希望者へ禁煙補助薬を支給し、禁煙チャレンジを行ってもらっています。
毎月第三水曜日に産業医による健康相談を開催するとともに、自由に使える血圧計の設置、社員食堂メニューや社内自販機へのカロリー表示を行い、自分の健康に気を配ることができる環境づくりを進めています。

## 安全衛生

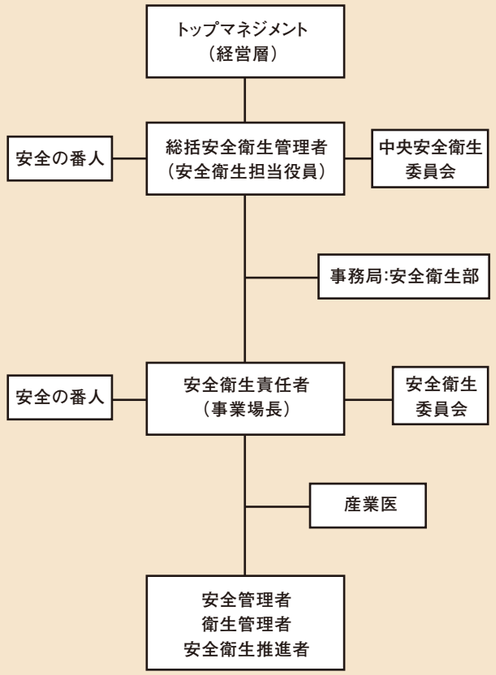
当社は労働安全衛生法に基づき各事業所に安全衛生委員会を設置しています。
安全パトロールや事故を未然に防止するための啓蒙活動、健康維持増進のための活動に日々取り組んでいます。




### ■安全衛生委員会設置拠点

| 事業所名 | 安全衛星委員会の有無 |
|---|---|
| 本社 | ○ |
| 磐田工場 | ○ |
| 岡崎工場 | ○ |
| HOWA九州 | ○ |
| HOWA岐阜 | ○ |
| HOWA栃木 | ○ |
| HOWA岩手 | ○ |
| 厚木システム開発センター | ○ 衛生委員会 |
| 東京支社 | — 従業員50名未満 |
| 栃木営業所 | — 従業員50名未満 |
| 大阪営業所 | — 従業員50名未満 |
| 九州QRE | — 従業員50名未満 |

### ■安全衛生推進体制




## 工場での安全衛生の取組み

労働安全衛生マネジメントシステムに基づいた年間計画の作成、進捗確認、マネージメントレビューにより、PDCAを実行しています。悪かった内容は次年度に挽回する目標を立てることとしています。
安全最優先の風土つくりとして、生産課で月1回安全専念時間を設定する他、小集団活動として、残留リスクやハザードの定期確認、KYシート、入社2ヶ月後の安全意識テストなどを実施しています。

### ■安全道場

各課・部署毎に安全教育計画を立案し、ルール再確認や過去災害の振り返り、新入社員の導入教育を実施しています。挟まれ、巻き込まれの怖さを知ってもらうために、治具装置を用いて疑似の手指を実際に挟ませ、どうなるかを体験してもらうなど安全への意識を高めるための教育を実施しています。

# S 社会

HOWA CSRレポート2021

# SOCIETY

## 取締役の安全健康決意表明

毎年4月、安全衛生の基本理念と安全衛生方針である「安全と健康はみんなの責任である」「明るく楽しく、健康で災害の無い職場をつくり上げる」を実現するために全取締役の思いを表明しています。
髙田社長の「安全と心身の健康が全てである」を筆頭に各取締役の安全に対する強い思いが表れています。

## QC活動

当社はQC活動を積極的に推進しています。この活動は、業務改善を全員参加で考え、推進するための効果的な活動と位置づけています。継続的な活動とすることで、企業体質の改善・強化、スタッフの能力向上を図ることを目的としています。部署別にチームを作って活動し、発表会では、優秀チームに社長表彰を行っています。この活動は達成感を持つことによる意識改革や明るく働きがいのある職場づくりにも繋がっています。

## シニア層の活躍

定年退職者が長年の業務で身に着けた経験やスキル、技術は貴重な財産であり、次世代へ伝承せずに無くしてしまっては大きな損失となります。
当社では、定年後も引き続き雇用されることを希望し、就業規則等に抵触しない従業員については、満65歳まで再雇用し、業務で活躍してもらうとともに、後進育成の一翼も担ってもらっています。

## 障がい者の活躍

当社はCSR方針に人権や多様性の尊重を掲げており、障がい者がいきいきと自立して働ける職場づくりに取り組んでいます。また採用活動も積極的に行っています。

## 研修について

当社は階層別研修として、新入社員研修、中堅監督職研修やリーダー研修、マネジメント研修を実施しています。新入社員研修では、社会人としての基本姿勢を養うビジネスマナーから、新入社員が早期に職場に馴染み戦力となるための業務説明や工場実習を行っています。
中堅監督職研修は、期待される役割の認識、役割遂行に必要な知識・考え方の習得を目的として行っています。リーダー研修やマネジメント研修は、次世代のリーダーを育成すべく、意識改革とマネジメント力向上を目的に行っています。
上司、部下、関係部署からの多面評価を取り入れていますが、部下、関係部署からの評価は「気づき」も多く有意義であり、他の階層の研修でも実施すべく検討しています。
また、2019年度から工場のリーダー育成を目的とする問題解決教育をスタートしています。引き続き、教育の品質向上、対象者拡充に努めています。

〈教育研修の体系〉

| 階層別 | 問題解決 | Global人材育成 | 分野別 |
|---|---|---|---|
| マネジメント研修<br>リーダー研修 | 問題解決教育<br>QCサークル | 拠点長教育<br>赴任前教育 | 安全<br>品質<br>原価<br>コンプライアンス |
| 中堅監督職研修 | | | |
| OJTトレーナー制度 | 初級コース | | |
| 基盤づくり | キャリアプラン面談、ローテーション | | |
| | 自己啓発支援（通信教育、語学研修） | | |

## グローバル人材

HOWAグループは海外に23の拠点を有しており、現地では多くの現地社員が活躍しています。グローバルで事業を継続していくために多様な人材の起用は重要だと考えており、国内拠点でも多くの国の方々が活躍し、会社発展の原動力となっています。一方、国内から海外現地法人に出向する社員に対して、語学研修、マネジメント研修、海外業務研修などの赴任前研修を実施し、赴任者が存分に能力を発揮できる環境を整備しています。

## 人事評価制度

当社は人事の公正を期すことを目的に人事評価制度を導入しています。従業員の一定期間の勤務成績（成果・行動）を定期的、統一的に評価し、その結果を昇進、昇格、異動、昇給や賞与の考課に用いるとともに、教育訓練計画にも反映しています。
人事制度は「処遇」「評価」「育成」が有機的に連携して、良いサイクルを生み出します。各制度の充実に向け、引き続き改善していきます。

〈評価制度体系図〉

## 労使関係

当社は労働組合と、会社の発展と組合員の労働条件の維持改善、健全な労使関係を築くことを目的として、労働協約を締結しています。
また、労使間の話し合いの場を設定し、さまざまなテーマについて定期的に協議および意見交換を行っています。

## 紛争鉱物

鉱物資源の違法採掘や密輸は武装勢力の資金源になっていると言われており、そうした可能性がある鉱物（紛争鉱物）に由来する金属の使用有無については調査報告義務が米国で法制化されています。当社は、お客様の調達方針を共有し、お客様が安心して製品をお使いいただけるよう、紛争鉱物の調査を実施しています。
お取引先の協力を得ながら、サプライチェーンをさかのぼり、紛争鉱物の使用状況を確認しています。採掘場での児童労働などの社会問題もひきおこす懸念のある原材料の使用を回避すべく、お客様やお取引先と連携して取り組んでいます。

## 脱ハラスメント宣言

当社はいかなるハラスメント行為も許さず、全ての従業員がお互いに尊重し合える職場づくりに取り組んでいます。社長からの強いメッセージを社内に展開し、研修でも徹底を図っています。

### いかなるハラスメントも許しません!!

ハラスメント行為は人権に関わる問題であり、従業員の尊厳を傷つけ職場環境の悪化を招く、ゆゆしき問題です。
当社は、いかなるハラスメント行為も断じて許さず全ての従業員が互いに尊重し合える、安全で快速な職場環境づくりに改めて取り組んでいきます。

社長から全従業員あてに発せられたメッセージ

# S 社会



# SOCIETY

## お取引先への取組み

当社は、下請代金支払遅延等防止法（下請法）などの法令を遵守し、お取引先を尊重し、公正、透明で誠実な取引を遂行し、共存共栄に努めています。
さらに、環境・社会面での配慮と経済的リターンを両立させ、お取引先と協力し、サプライチェーン全体で持続可能な社会の実現に貢献していきます。

## 特許

### ダッシュサイレンサー フィルム技術

主にエンジンルームからのノイズを防音するダッシュサイレンサーのフェルトとフェルトの中間層にフィルムを入れることで軽量、高性能な防音材を提供する事が可能となりました。当社ではその構成を特許取得しており、多くの車両に搭載しています。

ダッシュサイレンサー

### X-Band技術

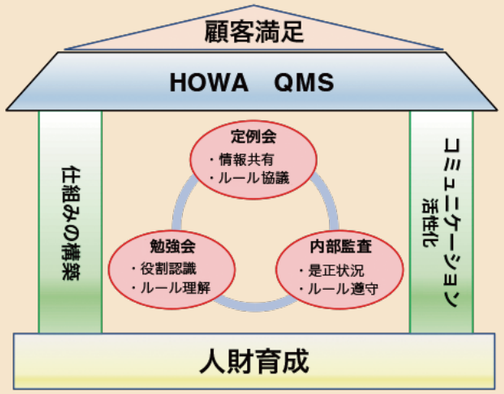
車両防音材としてはウレタンやフェルトなどの多孔質材料にオレフィン系ヘビーシートが使用されていますが、200Hzから500Hzの周波数領域は対応できませんでした。当社は、独自のフィルムを活用したX-Band構成により、この領域にも対応できる防音材を特許取得し量産化しています。

## 交通安全活動（立哨活動）

毎月1回交通事故ゼロの日に合わせ、本社周辺の交通量の多い交差点で、シートベルト装着やスマホながら運転防止の呼びかけ、歩行者への挨拶運動を行っています。ドライバーの方々や歩行者の方々の安全意識向上とともに、参加者自身の意識向上に寄与するものとして取り組んでいます。
自動車業界に関わる企業として、従業員自身はもちろん家族、仲間から一人の加害者も被害者も出さないという思いを込めて取り組んでいます。

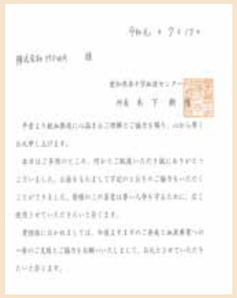
## 品質の追求

当社は、顧客満足達成のために継続的改善を続ける品質マネジメントシステム(QMS)を構築してます。
定例会・勉強会・内部監査の実践活動からPDCAを回し、基礎となる「人財」を「育成」し、HOWA　QMSを支える「仕組みの構築」「コミュニケーション活性化」の2本柱を軸に体制強化を図ってます。




## 献血

2020年はコロナ禍で献血活動に協力できませんでしたが、前年までは日本赤十字社の献血車に来社頂き、社員に呼びかけ、献血を行っていました。



## 地域との交流

当社工場では、地域との交流活動の一環として、地域の方々をお招きする工場見学会などを開催しています。2020年度はコロナ禍により中止しましたが、工業団地内の清掃活動への参加や交通安全市民運動への参加は引き続き実施しました。また、地域行事への参加や接面道路の定期パトロールと除草、樹木伐採なども行いました。

## 寄付

当社はCSR方針で、社会の信頼に応える経営に努めることを掲げており、地域振興などのさまざまな分野で寄付活動を行っています。2020年度は、名古屋銀行を通じて寄贈型私募債2億円を発行し、岡崎工場近隣の小学校に40万円相当を寄付しました。

また、コロナ禍で増加した生活困窮者を支援するため、防災備蓄品の一部をNPO法人などの団体へ寄贈しました。これらの品々は、新型コロナウイルスの影響で職を失い母国にも帰れない外国人の方々や、愛知県に住む生活困窮者の方々の手に渡りました。

# G ガバナンス

## 安定供給への取組み（BCP）
### ～安否確認システムの導入～

BCPとは、地震や火災など不測の事態が発生した際に、従業員の安全確認とともに、製品供給を維持し、事業を継続することを通じて企業の社会的責任を果たしていくための計画を指します。
社員の安全確認という点からは、災害発生時に従業員とその家族の安否を確認し、被害の状況の確認をするための安否確認システムを導入しています。
このシステムは、事業を維持する陣容を確保するためにも重要なシステムです。また、お取引先各社と連携を取り、不測の事態が発生した際に供給責任を果たせる仕組みを構築し、お客様に与える影響を極力回避できる生産体制の構築や早期復旧に向けた対策、対応も常に考え、継続した改善に取り組んでいます。
火災発生時には初動対応が迅速に行えるよう、各拠点で自衛消防隊を組織し、連絡班、消火班、避難誘導班、安全防護班、応急救護班等の人員や役割を予め定め、有事の際の体制を整えています。

## 防災訓練の実施

当社は、今後発生が懸念されている南海トラフ大地震などの災害に備えて防災訓練を毎年実施しています。スムーズな屋外避難や従業員の安否確認のほか、消火器を使用した消火訓練、消火栓やAEDの使用訓練、煙道や地震の模擬体験を社員が実際に経験し、また、負傷者搬送用担架の使用方法を学ぶなどの訓練を実施しています。

## 防災備蓄品の管理

自然災害や火災等によりダメージを受けた設備の復旧要員や帰宅困難者のために社内に長期保存用の食料、飲料水や毛布、災害救助用工具などを備えています。
有事の際、被害を最小限に抑え事業活動を継続するため日頃から整備を行っています。
また、有事の際の屋外避難時に、避難場所で応急処置等が迅速におこなえるよう、屋外に防災品の保管庫を設け、救急箱、毛布等の必要物資を保管し、災害に備えています。

## 新型コロナウィルスへの対策

当社は新型コロナウィルス感染発生時から、対策本部を立ち上げ、感染状況を踏まえ月次での対策を決定し、社内に展開しています。
勤務についてはテレワーク環境を整え、可能な範囲で在宅勤務を推奨し、フレックス勤務も交え感染リスク低減を図るとともに、不要不急の外出、出張を抑制し、会議も可能な限りWeb会議に移行しています。
除菌用アルコールの設置やマスクの着用等、基礎的感染対策も徹底し、感染の防止に努めています。一方、感染者が発生した場合は、関係先に連絡の上、消毒作業や濃厚接触が疑われる社員等のフォローを実施しています。

## 情報セキュリティ

当社は「機密管理規程」「機密保持テキスト」などを整備し、情報セキュリティ、機密保持について機密保持委員会を中心とした管理体制を敷いています。
ファイヤウォール、アンチウィルスソフト等のITセキュリティ対策、ICカードによる機密エリアへの入退場管理、構内での撮影手続き、機密品の持出持込手順、機密情報の管理手法、取引先との機密保持契約締結など様々な項目についてルールを定め、確実な適用に努めています。

# GOVERNANCE

## コンプライアンス

当社は倫理規程を制定し、当社役職員が遵守に努めなければならない内容を定め、啓蒙活動を継続しています。各部門長を倫理、法令等遵守の責任者とし、所属員へのコンプライアンスに関する指導を行う体制をとっています。
加えて、毎年度コンプライアンス研修を実施することを定めて、研修を制度化しています。研修の計画的な実施を通じて、役職員へのコンプライアンス意識の浸透・定着に努めています。
配布するコンプライアンスマニュアルには疑問点がある場合の対応策や相談先を記載しています。このコンプライアンスマニュアルは定期的に内容を見直し、法令や社会情勢に沿った最新の内容を社員で共有しています。
また、コンプライアンスについて定期的に考える機会を設けるため、社員に対して法令改正情報や事例などをまとめた文書を配布しています。社内報では、社内規程の改定や社会情勢についてのタイムリーな記事を掲載し、これらの手法を通じてコンプライアンスについて学び、考えることができる体制を整えています。
なお、当社は反社会的勢力との関係断絶のため、法令および行政機関等の指導に従い、反社会的勢力の排除に関する内容について、契約先と取り交わしています。

## コンプライアンス研修

当社は法令や企業倫理に適合した業務の遂行を第一に考えています。このため、HOWAグループに所属する全社員等に対してコンプライアンスの重要性、遵守すべき法令等の研修を定め制度化しています。この研修は毎年実施し、社会情勢や法規制改正等を踏まえ、テキストを毎年追加修正しています。

**コンプライアンス研修受講者数** 1,005名
（2020年度・国内グループ全体）

## 汚職・贈収賄防止

当社は倫理規程において、取引業者との公正取引を定め、癒着の禁止、業務上の利害関係者への経済的利益および便宜等の供与や収受の禁止を定め、汚職や贈収賄の禁止を徹底しています。

## 個人情報保護

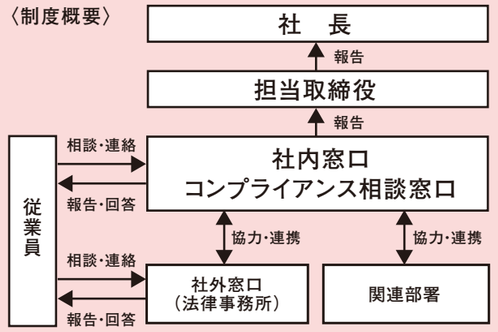
当社における個人情報の適切な取り扱いを図り、個人の権利、利益を保護するために「個人情報取扱規程」を定めています。お客様やお取引先の方々などの個人情報を適正かつ厳正に取り扱うためにプライバシーポリシー（個人情報保護方針）を定め、ホームページで公開しています。役職員一同がこれを遵守し、お客様からお預かりする個人情報の保護に万全を尽くしています。

## 内部通報制度

法令違反や社内不正、社内規程に違反する行為、またはこれらが疑われる行為に関する相談、通報窓口として、コンプライアンス相談窓口を設けています。
社内と社外に窓口をそれぞれ設置し、通報専用のメールアドレスや郵送先を設定、社外窓口は弁護士としており、通報や相談を実施する場合の個人情報や個人の利益が損なわれない相談しやすい環境を整えています。

内部通報件数（2020年度・国内グループ全体） 11件

〈制度概要〉




### あとがき

株式会社HOWA「CSRレポート2021」をお読みいただき、ありがとうございました。このレポートは、HOWAグループのCSR活動をご紹介するレポートとして編集しています。日本と世界各地のHOWAグループ各社を報告対象としていますが、個々の報告項目によりその範囲は異なります。
なお、このレポートには当社の将来に向けての方針や考え方も含まれますが、これらは当社が現時点で収集可能な情報から判断した事項です。

【発　　行】2021年8月
【対 象 期 間】2020年4月1日から2021年3月31日まで。ただし、一部の記載は当該期間前後の活動内容を含みます。
【問い合わせ先】総務部CSR推進課

株式会社HOWA
〒486-0969 愛知県春日井市味美白山町2丁目10番地の4
TEL 0568-34-8180（代表）
http://howagrp.com